



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

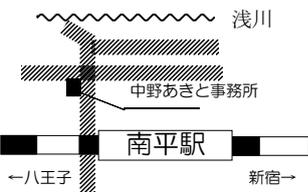
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2021年
1月発行

第217号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



河内久男元副市長問題 保育園民営化で次々新事実 市政をめぐる大疑惑に

市立病院と川辺堀之内区画整理組合で、違法な兼業、不正な二重報酬、契約書のないヤミ手当など、数々の法令違反疑惑が浮上している河内元副市長問題。
中野あきと市議は昨年9月議会でも、新たに「たかはた保育園」の廃止・民営化(6年前に実施)に関する問題点を追及しました。さらに12月議会では、日本共産党市議団の調査の結果、明らかにした新事実を示し徹底的な調査・解明を求めました。

保育園の民営化事業 河内氏が主導的役割

12月議会で質問に立った中野あきと市議は、市立病院の臨時職員だった河内久男氏が、「たかはた保育園」の民営化事業にも関与していたのではないかと追及しました。中野市議は、民営化先の地権者との合意や新たな保育園の選定過程、保育園建設工事の入札

のあり方などが不自然な形で行われ、総額6億円を超える高額な補助金が投入されていると指摘。

これに対し担当部長は、当時河内氏が、民営化先の土地所有者の親族であった市立病院の医師から、診療所建設に関する相談が持ちかけられていたことを明らかにしながら、「河内氏は土地所有者や運営法人との調整をすすめていたと思われます」と答弁。河内氏が保育園の民営化に主導的立場で関与していた事実を明



▶昨年11月行われた「不正疑惑の真相解明」シンポジウムで 報告する中野あきと市議

らかにしました。

これは、退職後市立病院の臨時職員であった河内氏が、保育園の民営化という市立病院とは関係のない市の事業に関与していたことになり、行政機構としてのガバナンス(統制)が問われる問題です。同時に、膨れ上がった補助金支出の妥当性も疑われる重大問題に発展しました。

保育園土地所有者の親族が経営する医療法人の監事も

河内氏の関与は、これに止まりません。共産党市議団の調査で、保育園の民営化が実施された翌年(平成27年)から一昨年まで、土地所有者の親族が経営し始めた医療法人の監事を務めていました。ここでもさらなる兼業違反を重ねていたこととなります。

しかも、6億円もの補助金が投入された保育園の民営化の核となった土地所有者の親族が経営する医療法人の監事となれば、道義的にも社会的にも、法的にも疑われる問題です。

大坪冬彦市長は、この新事実に対し「徹底的な調査をしなければならぬ」「我々市の職員の力量だけでは厳しいものもあり、専門家の力を借りて徹底解明していかねばならない。それだけの問題がつきつけられたらと思っております」と答弁しました。

馬場元市長、大坪市長は河内氏の関与を十分承知していた

大坪市長は、昨年9月議会の中野議員の質問に、元副市長の関わりが具体的にどのようなものであったかは把握していないと答弁しました。

しかし、この間、党市議団が市に行った情報開示請求への回答資料で「たかはた保育園」の民営化に関し次のような事実が判明しました。

- 河内氏が「調整推進者」として名を連ねた会議が開催されていた。
- その会議には、地権者、設計業者とともに市の関係部課長が参加していた。
- その部課長の一人として、

当時、部長として大坪市長自身が出席していた。さらに、その内容が、当時馬場市長に報告されていた。

「把握していない」ところか、河内氏が事実上取り仕切る会議に大坪市長自身が出席し、馬場(当時)市長に報告されていたのです。両市長は、河内氏が主導的に関与していたことを承知していたこととなります。

市政の私物化が明らかになった河内元副市長をめぐる疑惑は、歴代市長の把握・承知のもとで行われた問題として、市政そのものの正当性が問われる重大事態となっています。

河内氏の法令違反、行政私物化をめぐる一連の問題は、河内氏個人の所業にとどまらず、馬場元市長、大坪現市長が承知の上で行われていた疑いが出てきました。市政を揺るがす重大問題の様相を呈してきています。

徹底調査で不正・汚職の全容を解明し、清潔公正な市政へと刷新を図ることが痛切に求められています。全力で取り組みます。

中野あきと

新しい政治実現 市政の刷新を 迎春



今年もよろしく
お願いします。
中野あきと事務所



▶「近所に挨拶する中野あきと市議(昨年末、事務所前で)」

◇南平地域の危険箇所点検◇ 危険がいっぱい 日野市に改善要求

中野あきと事務所では昨年12月14日、南平地域の一部で中野あきと市議と共に「危険箇所」の点検を行いました。「北野街道口」停留所を点検中、小学4年生の子どもをもつお母さんが声をかけてきて「道路の反対側も同じように危険」と要望が出されました。中野あきと事務所では、今回の点検をもとに、日野市に要望することになっています。お気づきのことがありましたら、お寄せください。

剪定枝の 拠点収集は存続を

これまで、市内20箇所の地点で樹木の剪定枝の拠点収集が行われてきましたが、日野市はこれを廃止し今年1月から戸別収集のみで行うことになりました。一束の大きさや数量が限定される戸別収集では、小規模な枝払い程度しか対応できません。これは、明らかな「緑化推進条例」の後退です。共産党市議団は、3月議会で復活を求めます。



①手摺りの無い用水の橋
用水の底まで1.5㍍と深い
(南平6丁目)



④ミニバス「北野街道口」停留所(市道)の柵裏の石垣(高いところは3㍍も)。子どもが立ち入り危険(南平2丁目)。



②用水にガードレールの無い道路(南平7丁目)
用水の底まで7.0㍍もある



⑤北野街道(南平7丁目)
「ガスト」前の狭い歩道



③ミニバス「南平4丁目」停留所
数年前、「北野街道循環」路線が新設されたときにできた停留所。利用者は多いが、街灯が無く夜は真っ暗になる。

こんにちは 清水とし子です ⑤

市民と野党の共闘で 政治を変える年に



新型コロナ感染拡大が止まりません。身近な人たちのなかに感染者ができるようになり、街の中に感染が広がっていると実感しているかたも多いのではないのでしょうか。

一人暮らしの方、高齢者のみのお宅では、「もしもの時はどうしたらよいのか」といった不安を抱えているのではないのでしょうか。

自営業の方は、先の見通しが持てないなかで、資金繰りや家賃・税金の支払いなどで困っておられるのではないのでしょうか。

「どうい支援があるのか、申請はどうしたらいいのか、わからない」「役所に行くのは敷居が高い」、そんな時は一人で悩まず、どうぞお気軽にご相談ください。一緒に解決しましょう。

このコロナ禍は、医療や社会保障の削減を進めてきた政治、女性や若者の犠牲の上に成り立っていた経済などを、誰の目にも見えるようにしました。そして、こういう政治を変えようと若者が、女性たちが次々と立ち上がり、政府の対策を前進させています。

こうした大きな変化のなかで迎えた2021年は、市長・市議補欠選挙、都議選、総選挙と選挙の年でもあります。市民と野党の共同で、必ず政治を変えたいと思います。ご支援をよろしく願います。

(都議予定候補・清水とし子)

《日野のく風物詩》 (その1) 昔から「一番は高幡不動尊へ初詣」

コロナ禍で
今年は参拝者が激減



▲2021年元日・昼 撮影

「一番は高幡不動尊へ初詣」と昔から言われている日野市の「高幡山金剛寺」。真言宗の寺で本尊は「不動明王」。開基は8世紀と言われています。立派な山門の両脇には仁王様が見守り、四季を通じて多くの行事が行われ、たくさんの参拝者でにぎわいます。

元日は近くの『氏神様』へお参りを済ませてから、高幡不動尊へ参拝する方も多く、近郷近在からもたくさんの参拝者があります。

例年なら、元日の昼間は、山門前から参道、さらにモノレールの高幡不動駅まで長い参拝者の列ができますが、コロナ禍の今年はそれもなく、いきなり参道を通り山門から境内に入り参拝することができ、境内も空いていました。

毎月28日はお不動さんの縁日で、1月28日は「初不動」です。「だるま市」も開かれ広い境内のいたるところに、たくさんの店が出ますが今年はどうなるか。早くコロナが収まりますように…。

[2021年2月の無料法律相談日]

■4日(木)午後6~8時 大高哲史事務所

■11日(木)は、祝日のためありません。

お申込みは清水とし子事務所 ☎042-582-1042

◎法律相談以外のお困りごともお気軽に

中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所